

## 使用上のご注意

- 靴のサイズは目安にすぎませんので、実際に履いてみて足に合うサイズをお求めください。サイズの合わない靴を履くと足の健康を損なう恐れがあります。また転倒によるケガ、事故につながる恐れがあります。
- 油、有機溶剤、酸、アルカリ、洗剤などをひいてある場所での使用は、なるべく避けるようにしてください。甲皮や靴底が劣化することがあります。
- ご使用の前に靴底のひび割れ、すり減りなどの異常がないことを確認してください。異常があった場合はご使用をおやめください。
- 自動車の運転など、足にしっかり固定する必要がある場合には踵を踏んだ状態でのご使用はおやめください。
- 滑りにくい底意匠設計にしておりますが、使用環境によっては滑る場合がありますのでご注意ください。
- 破れの原因になりますので、尖ったものや刃物などで傷をつけないようにご注意ください。
- 火や暖房器具・高温となる場所の近くには、絶対に置かないでください。変形・変色・異臭発生の原因となります。
- 天然皮革や濃色の生地は濡れた時や摩擦によって色落ちする可能性があります。衣類等に素材の色が移る場合がありますので、ご注意ください。

## お手入れ・保管方法

- 素材、状態によってお手入れ方法が異なります。それぞれの素材の状況にあったお手入れをしてください。
- 靴が濡れた場合は乾いた布などで水分を吸い取り、型崩れ防止の為に白い紙か布を詰めて、風通しの良い日陰で乾かします。ストーブやドライヤーなどでの強制乾燥は、変形や型崩れの原因となりますのでお避けください。
- 風通しがよく、湿度が高くない日陰で保管してください。
- 靴にダメージを与える恐れがあります。以下のような場所での保管はしないでください。
  1. 直射日光の当たる場所・車内など高温になる場所
  2. 暖房器具の影響を受ける場所・湿度の高くなる恐れのある場所

## 素材別お手入れのポイント

### 【合成皮革・人工皮革】

丸洗いはできません。柔らかい布で水拭きします。靴クリーム等の保革油を用いる必要はありません。

### 【天然繊維・合成繊維】

水につけたブラシで汚れを落とします。型崩れ防止のために白い紙や布を詰めて、風通しの良い日陰で乾かします。

### 【天然皮革(裏革・スエード)】

水洗いはしないでください。毛ブラシやナイロンブラシで表面を逆立てるようにしながら汚れを取り除きます。同通しの良い日陰で乾かし、仕上げにブラシをかけて整えます。なお、毛が剥げたり、変色したりする原因になりますので、ブラシで強くこすることはお避けください。